

# 建築仕事百科

わが社の大工工事をお世話になっている  
前川建築の前川広さんに聞きました。

前川建築 篠山市東岡屋 60-8

- Q1 この職業に就いたきっかけはなんですか？  
A1 高校生の時にアルバイトでお世話になった工務店で、平面図からしっかりとした形に出来上がっていく様子を見て感動し、興味を持ちました。
- Q2 どうすればこの職業に就けますか？  
A2 別にこれと言って特別な事はありません。ただ、どんな設計にも対応できる様に、向上心と研究心は常に持つ様心掛けています。(親方について修行されたと伺っています。)
- Q3 家を建てるのに一番難しく、苦労されるのはどこですか？  
A3 仕上がった時の形を、出来るだけ長い間留めるために、下地には気を配っています。
- Q4 ご自身が仕事の事でこだわり、努力されている事は何ですか？  
A4 何よりも施主様に満足して頂ける事を第一として、努力しています。「スッキリ」「やわらか」という事にこだわって作業しています。
- Q5 仕事を離れるとどんな事に興味をお持ちですか？  
A5 ツーリング、ドライブ、釣りと趣味は多くあります。ツーリングやドライブの行き先は神社、仏閣、特に城を観てまわることが好きです。



表面に掲載している篠山市Y様邸の大工工事をお世話になりました。センスのある美しい仕事をされる前川さんの職人としての腕は確かで、定評があります。厳しい眼を持つわが社の先代社長に引き続いて、現在の社長も安心して仕事を任せられると言い、ずっとお世話になってきました。これからも体に気をつけて頑張ってほしいと思います。

(Y. OOMAE)

## 土地 中古物件

篠山市今田町

阪神間より JR 福知山線にて、45分～60分、駅より車にて1分～15分。

自然がいっぱい。田舎暮らしを希望される方にお勧めします。今田薬師温泉のくもりの郷や、丹波立杭焼の郷にも近く、日当たり良好で家庭菜園も出来る土地です。



土地 70坪～490万円～  
中古物件 広い庭園付、二世帯でも住めます

詳しくは、大市住宅のホームページ、不動産情報にてご覧下さい。お問い合わせは下記へ。

エステート大前 TEL・FAX 079-597-3062  
携帯 090-3277-8584  
〒669-2133 篠山市今田町下小野原 631-1 Mail you\_taka\_511@yahoo.co.jp

## 施工状況

9月から、工事が始まった篠山市Y様邸。秋晴れの下、無事棟が上がり、順調に大工工事が進んでいるところです。来年2月に完成の予定です。同じく市内では、他にも新築工事、大規模リフォーム工事が進行中です。



## 日々、木と暮らす

### 地材地消

以前は木造住宅の材料は「地産地消」が原則でした。木は、育つ土地の気候、環境に適応しその土地に對する抵抗力をつけることで育っていく。だから地域で取れた木材は腐りにくく、家が長持ちすると言われていました。

しかし、現在では県産材の需要の低迷などの理由から、放置される森林が増加しています。これでは木々が過密状態になり、健全に育たなくなってしまうばかりか、下草が枯れて地表がむきだしになり、土砂の流出や保水力の低下を招いてしまいます。

家を建てたり、家具をつくるときに県産材を選ぶことは、間伐事業の資金を

うみだすことにつながります。そして、たくましい木々を育て、土砂災害を防止し、水源を確保する豊かな森林を育むことにもつながるのです。

県産材の需要が増加すれば、林業が活性化されるとはもちろん、地元の製材所、設計士、大工・工務店がうるおい、地域経済も発展します。

当社では、地域型住宅ブランド化事業に採択された「丹波篠山の家」として、兵庫県産材、篠山産材を積極的に使用し、また、丹波焼の手洗い鉢の設置など地元の資源を活かして、篠山らしい家づくりに取り組んでいます。

(T. FUJII)

## 大市日記

DAICHI NIKKI

「大市日記」で『編集後記』

前回の『すまいるすまい30』を書く際に改めて、「編集後記」とはなんぞやと思いついてみると「雑誌や書籍などで編集者が記すあとがき」と書かれていました。他を調べてみるも、曖昧なものばかりでこれといった決まりもなさそうでした。なので、これからは気にしすぎず(自由に)書こうとおっております。

前置きが長くなりましたが、日曜日の19時ちょっと前に「さ～て、来週のサザエさんは～？」と、『サザエさん』の次回の予告が始まります。そこでは週替わりでサザエさん一家の誰かがしゃべっています。これも広義で編集後記なのかなと、解釈しました。

こんな編集後記、たのしい感じがして私は大好きです。それに比べ「すまいるすまい」は少し真面目な雰囲気か漂っているかもしれませんが、それが大市住宅の社風だといえるのであれば悪くはないのですが、「真面目」は仕事で存分に生かすこととし、この「すまいるすまい」を含めた他のものに関しては皆さまにもっともっと親しみを持ってもらえたらととてもありがたいなあ、とおっております。

年にたった2回の発刊ですが、これからもよろしくお願ひします。

(T. OOMAE)



## 編集後記

あれから40年！  
体重は10kg位増え、メタボなお腹は、孫と一緒に風呂に入ると、おすもうさんみたいと言われる始末。おい、アレはどうした？  
あ、アレですか？アレはアレですよ。あの人の名前なんて言うのてしたか？そんな事、わしに聞いても思いつける筈がない。何故かといって答え主人。  
アレ、アレ、ソレ、ソレ、で一日が過ぎ、不思議に会話が成り立っている。皆様のおかげで40年！  
大市住宅が50年、60年と続いていきますように、今後共、よろしくお願ひ申し上げます。  
綾小路 ゆみまろ

